

港区伝わる日本語シンポジウムを開催します！

～協働でつくる「伝わる」日本語～

港区ではあらゆる人に必要な情報が伝わるよう、情報を受け取る相手の立場に立って分かりやすく情報を伝える「伝わる日本語」の取組を進めています。

この取組を、区民、企業や団体などへ浸透させるとともに、他の地方公共団体へ広く発信するため、「港区伝わる日本語シンポジウム」を開催します。

シンポジウムの概要

日時 令和6年3月19日（火曜） 午後1時～4時30分

会場 港区立高輪区民センター 区民ホール（港区高輪一丁目16番25号）

【主なプログラムと登壇者】

- 基調講演（「伝わる」だけで大丈夫？～伝えることの前と後に配慮すべきこと～）
宇佐美 洋 氏（東京大学大学院 総合文化研究科 教授）
- 伝わる日本語に関する共同研究の成果報告
太田 陽子 氏（一橋大学 国際教育交流センター 教授）
柳田 直美 氏（早稲田大学大学院 日本語教育研究科 教授）
岩田 一成 氏（聖心女子大学 現代教養学部 教授）
- 港区伝わる日本語行動指針の紹介
港区総務部伝わる日本語推進担当課長

「港区伝わる日本語行動指針（令和6年2月策定）」は、区が伝わる日本語を実践する上で、職員一人一人の行動の羅針盤となるものです。



- 区民との意見交換（区民から見た「港区伝わる日本語行動指針」）
区民の方3名をパネリストにむかえ、意見交換を行います。
- パネルディスカッション（港区の情報発信はどのようであるべきか）
庵 功雄 氏（一橋大学 国際教育交流センター 教授）がファシリテーターとなり、当日の登壇者によるパネルディスカッションを行います。

シンポジウムの詳細は区ホームページをご覧ください。▶

